

## ファミリーマート、ドン・キホーテ 「共同実験を3店舗で実施」 ～ FM は客数増、新規客層が狙い～



ユニバーサルファミリーマートHD(株)と(株)ドンキホーテHDは、2017年に締結した資本・業務提携に基づき、ファミリーマート(以下、FM)店舗を通じた共同実験を6月1日(金)より開始した。

今回、ドン・キホーテ(以下、DQ)店舗の品揃えや売場づくり・運営手法を取り入れた共同実験店舗として、6月1日(金)に、「ファミリーマート立川南通り店」(東京都立川市)と「ファミリーマート大鳥神社前店」(東京都目黒区)を、6月29日(金)に「ファミリーマート世田谷鎌田三丁目店」(東京都世田谷区、※開店日は予定)をリニューアルオープンする。

両社は、共同実験を通じ、品揃えや売場づくり・運営の手法などを検証していく。

共同実験の背景には、競争が激化するコンビニエンスストア業界において、“客数の伸び悩み”がある。FMとしては、同社の基本的な売場づくりや品揃えに、DQ店舗の強みである地域ニーズに合わせた商品提案や演出ノウハウを付加することで、新たな客層の開拓や客数増・売上増に繋げる狙いがある。

また、DQとしては、実験の効果をDQが展開するピカソなどの小型店舗や狭小店舗に繋げたい考

え。DQは以前「情熱空間」の屋号でCVS事業に参入し上手くいかなかったが、今実験はDQのCVS事業への再参入のためのものではないという。

実験内容としては、都内のFM直営3店舗において、FM既存商品を減らし、ドン・キホーテが推奨する日用品や加工食品等約2800種類を投入する。発注はFM・DQ商品別々の端末から実施し、物流も双方から店舗へ搬入、DQ商品をFMが仕入れて販売するかたちとなる。なお、DQ推奨商品における販売価格決定権はFM側にあるとしている。

商品面では、改装前の3,400アイテムから5,000アイテム(FM2,200、DQ2,800)に拡大。

ハード面では、高さ1,600mmの既存 Gondola 什器を1,800mmの什器に変更し、改装前の34本(3尺1本換算)から62本へ増加。雑誌什器は撤去しカウンター前で展開、通路幅は狭くし、イートインスペースは廃止し酒売場に変更した。また、看板には「Produced by ドン・キホーテ」を並列表記した。

売り方・演出面では、店内に円筒型投げ込み什器を30台設置した他、チェーンを使用した吊り下げ陳列、大型POPなどを設置した。

【新規導入・拡充した商品・売場】（改装前には導入していなかったカテゴリ）

|      |  |
|------|--|
| 菓子   | 大袋菓子、大型珍味（ポット型容器）、輸入菓子、袋タイプの飴（約 100 種類）やグミ（約 250 種類）の拡充、駄菓子コーナーの新設（約 140 種類）、子供向け玩具                |
| 加工食品 | 袋麺・レトルトカレー・缶詰の拡充、缶タイプのプロテインなどの機能性食品の拡充   |
| 日用品  | ボードゲームやカードゲームなどの玩具コーナーの新設（約 50 種）、電子タバココーナーの新設、ペンなど筆記用具の拡充、BOX タイプティッシュやトイレトペーパー、キッチンタオルなどの紙類商品の拡充 |
| 酒    | 常温タイプの酒の品揃えの拡充、ビールのケース売り（3 種類）   |
| その他  | カウンターフードとして焼芋を販売、日配ではチーズや牛乳など、DQ での売れ筋商品の導入  |



【実験店舗】

「ファミリーマート立川南通り店」(直営)

開店日：2018年6月1日(金)

住所：東京都立川市錦町3丁目30-11

売場面積：約47坪

駐車場台数：8台

免許品：酒、たばこ

アイテム数：約5,000種類（うち、ドン・キホーテ取扱い商品約2,800種類）

※通常の取り扱い商品の約1.7倍

「ファミリーマート大鳥神社前店」(直営)

開店日：2018年6月1日(金)

住所：東京都目黒区目黒3丁目10-13

売場面積：約45坪

駐車場台数：なし

免許品：酒、たばこ

アイテム数：約4,600種類（うち、ドン・キホーテ取扱い商品約2,700種類）

※通常の取り扱い商品の約1.5倍

「ファミリーマート世田谷鎌田三丁目店」(直営)

開店日：2018年6月29日(金) 予定

住所：東京都世田谷区鎌田3-12-16

※詳細は現在準備中

